



ロータリー:変化をもたらす

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2017-2018

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル ■会長/入谷 直行 ■幹事/加藤 英敏 ■会報・雑誌・広報委員長/川瀬 悟
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

2017-18年度 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

ガバナー公式訪問 (2RC 合同)

於: 名古屋マリオットアソシアホテル
16F 「アゼリア」 18:30 ~

第 1232 回

2017年8月29日(火) 晴 第7回

~会員増強・新クラブ結成推進月間~

斉唱	奉仕の理想
出席	会員 55名 (出席率算入人数 45名) 出席 41名 出席率 91.11% 前々回補填率 95.45% (8月8日分)
ゲスト	国際ロータリー第2760地区 ガバナー 神野 重行さん 国際ロータリー第2760地区 地区幹事 加藤 定伸さん

会長あいさつ

名古屋名南 RC 会長 入谷 直行さん

皆さま、こんばんは。今回はホストという事でご挨拶をさせていただきます。名古屋名南RCの入谷でございます。ガバナー、そして東南RC・名南RCの大勢の皆さまを目の前にして、挨拶をどのようにしたらよいのかと悩みます。ガバナーから会長挨拶に命をかけられると言われておりますので、命が幾つあっても足りないなという感じですが、少しだけお話をさせていただきますと思います。



最近ではアメリカがトランプ政権となって怪しい雰囲気もありますが、アメリカの底力は強いなと感じた事が2つございました。1つは電気自動車のテスラ。未来の車は水素なのかと思っておりましたら、世界はそうではなくて電気の方へ行く気配です。ゴルフ場の電動カートにドアが付いた程度のものかと思われる方も多いかもかもしれませんが、これがなかなかのもので、1回充電すると500kmは走りますし、スーパーカー並のパワーがあります。それからパソコンが走るような感覚です。実は1ヶ月前から乗っているのですが、2週間目位から突然バージョンアップがありまして、直角の駐車が出来ようになりました。どんどんバージョンアップしていくわけです。自動運転も今はハンドルを持っていないと切れてしまうのですが、おそらくここ1年以内には手

放しで自動運転が出来るのではないかという勢いがあります。このテスラは充電場所などの増設もどんどん進んでおりまして凄いなという感じです。

それからもう1つがウーバーという配車システムです。昨年、たまたま親しい友人とフロリダのゴルフ場に行っておりまして、タクシーに乗って出かけようと思ったら、大変な砂嵐だったので30分経ってもタクシーは来ないと言われてました。すると、友人の1人がウーバーの登録をしているから、1回も利用した事はないけれども試してみようという話になりました。行き先と人数をスマホで入力すると、すぐ近くにいる車が数台ピックアップされまして、その中でなるべく一番近そうなものを選びます。次に運転手の名前と車種が出てきて、GPSで現在の車の位置が分かり、何分で到着するという事も全部分かるようになっていました。到着するとお互いに名乗って挨拶をし、予め行き先は伝えてあるのでそのまま案内をしてくれます。降車する際には登録してあるカードでの支払いなので料金の支払いも発生しませんし、勿論チップもいりません。大変便利でした。アメリカはニューヨークなどの大都市ではタクシーがマンハッタンなどどこもかしこも走っておりますが、地方都市へ行きますと意外とタクシーは不便で台数がないのです。

そういう事でウーバーのもの凄いシステムを考えたとありますが、昨日の新聞によりますと、創業者がセクハラで経営が混乱しているという話も出ており、新しくエクスペディアのCEOが兼任するという話でした。とにかく凄いシステムを作り上げたなと。時価評価をすると日本円で7兆円以上あると言います。ただ営業成績はずっと赤字が続いているのだそうです。それでもこのシステムは凄いという事で、日本でもそれを模倣した荷物を動かすというようなものも出てきているようです。

とにかく行政あるいは既存の業者との色んな関係があってもなかなか上手くは進みにくいようですが、とにかく凄いシステムを考えたと大変感心しました。テスラとウーバー、やはりアメリカは凄いなと感じた次第でございます。ありがとうございました。

幹事報告

名古屋名南 RC 幹事 加藤 英敏さん

1. 次回9月5日(火)は例会変更です。9月9日(土)の地区補助金事業となります。9時50分に武田テバオーシャンアリーナに集合です。フットサルを開催しますので、ご参加の方はお怪我の無いように宜しくお願い致します。

2. 9月度の理事会ですが、9月12日（火）となりますので宜しくお願い致します。

ニコボックス

◆ 第2760地区ガバナー及び地区幹事の訪問歓迎。
ご指導よろしくお祈いします。

加藤 英敏さん 新原 尚さん 坂田 信子さん
犬飼りさ枝さん 有川 英敏さん 朝比美和子さん
久納 征人さん 白藤 憲雄さん 川瀬 悟さん
鈴木 一博さん 中村 勝さん 久米 伸治さん
本多 利郎さん 大橋さなえさん 伊藤 圭一さん
長尾 浅吉さん 猪村 美之さん 鈴木 清詞さん
三島多恵子さん 木下 福郎さん 日下智重子さん
大平 明子さん 森田敏二三さん 江松 央統さん
細井 俊男さん 安藤 修さん 佐々木元彦さん
下村 徹嗣さん 山本 郁矢さん 川辺 清次さん
木村 猛さん 加藤 宜之さん 三浦 隆さん
中西 芳子さん 小野 雅之さん 筧 惠理さん
高橋 司さん

本日合計 64,000 円 累計 427,000 円

会長・幹事懇談会



ガバナー卓話

■ 国際ロータリー第2760地区 ガバナー
神野 重行さん

皆さま、こんばんは。ただいまご紹介をいただきました、今年度の第2760地区のガバナーを仰せつかっております神野重行でございます。本日は宜しくお願い申し上げます。本日は私のお隣に片山主水パストガバナーも座っておられます。本当でしたら、何かご用事



を作った欠席していただいた方がとっておりましたが、山口会長は出席率100%を目指しているというお話もございました。そんな影響もあってか、本日もご出席いただいておりますので大変緊張しております。

パワーポイントを使わせていただきます。これは白くまで。冒頭から妙な写真が出ておりますが、これは私が寒さにめっぽう強い人間でありまして、金沢におりました時もコートを一度も着た事はありません。名古屋では勿論、東京でも。コートをお作りいただいているメーカーの方には申し訳ないと思っただけです。もうご覧いただいた方はお分かりかと思いますが、「ロータリーの友」7月号に私の同期を含めて34名の日本のガバナーの紹介がございます。紹介文のタイトルが「紳士は白くま?牛?」で、あまりにもひどいタイトルではないかと私も文句を言いましたが、これは「ロータリーの友」の編集長を6月迄しておられました二神典子さんが出てきた文章をご自分の判断でおつけになる権限があるそう、私の同期、他の皆さまは紳士で立派な方であるとか信念を持った方など良いタイトルが33あります。私だけこのタイトル。先程の話を二神さんに以前した覚えもありますが、これはあんまりだと思ひまして文句を言いましたら、もう既に時遅しでございます。一緒に写っておりますのは妻ですが、ガバナーは夫婦で一緒に頑張らないといけないという事です。1年どうぞ宜しくお願い致します。

本日は名南RCさんがホストです。東南RCさんとの合同例会を開いていただきまして、本当にありがとうございます。この例会前に両クラブの会長・幹事の皆さまと懇談会を持たせていただきました。私にとっても有意義な時間で、楽しく語らいを持たせていただきましてありがとうございました。大変参考になるお話を沢山いただきました。また既に両クラブをご訪問いただきました、西名古屋分区の宮崎薫ガバナー補佐からも色々ご報告をいただいております。そして両クラブのクラブ計画書には皆さま、十分に目を通していただいていると思います。これも事前に拝見させていただきました。またWEEKLY REPORTも見させていただきました。両クラブともご自分のクラブの奉仕活動だけでなく、地区への出向も含めて、片山主水パストガバナーは特別と致しましても本当に貢献をしていただいております事を、感謝御礼を申し上げる次第でございます。

更に東南RCさんにおかれましては、次年度にクラブ創立50周年という大きな節目をお迎えになるという事で、その委員会も活動しておられると伺っております。是非その50周年の記念事業を、皆さま方の記憶に残る良いものにしていただきますようお願いを申し上げますと共にお願いを致す次第でございます。また名南RCさんにおかれましては、本地区としては非常に珍しい本日のような夜間の例会をお持ちでございます。後で申し上げますが、若い会員を我々の仲間へ引き込もうとする時は、こんな事も大切ではないかなと思っております。この独自性、これを大いに発揮して、更にはロータリーアクト活動なども本当に積極的にお取り組みいただいております。そのようなものを今後も伸ばしていただければと思っている次第でございます。

このように両クラブの皆さま方も、今進めておられます奉仕活動、このようなものを社会奉仕・国際

奉仕・青少年奉仕それぞれによく吟味しながら、そしてもっとよいものに発展していけるように、今後再研修をしながらより有意義な奉仕活動にしていただければと願っております。それも皆さま方は充分にご理解、その上で進めておられると思います。ガバナーと致しまして感謝の一言でございます。

さて、今年度の国際ロータリーの会長イアン・ライズリーさんです。この方はオーストラリアの方ですが、会長テーマは先程のクラブ計画書にもしっかり載せていただいておりますし、また宮崎ガバナー補佐からも説明があったと思いますので、あまり重複しないように少しお時間をいただきます。

今年度のRI会長テーマ、「Rotary: Making a Difference/ロータリーに変化をもたらす」でございます。この会長テーマ、そして解説はクラブ計画書の他、「ロータリーの友」あるいはガバナー月信の7月号にも掲載しておりますから、お読みいただいたかと思いますが、それを要約致しますと、「即ちロータリーは自らの職業の倫理性を高め、それを通して世界で良い事をしようという理念を変える事はありませんが、その行動は時代と共に変化させてきております。今この時代だからこそ、我々ロータリーは目的と理念を大切に守りつつ、世の中で良い事をしようという自分達の奉仕活動をもっと周りの方に伝播していく事が求められています。それには私共がまず行動する事によってロータリー活動の意義と楽しさ、それを感じる事が大切です。それが自らを変え、そして周りを変えていく力になるでしょう。」イアン・ライズリーさんは「世の中で良い事をしよう、それを自分の務めと信じる人が集まる団体、地域と世界に良い変化を生み出したいという願いがロータリーを通じて実現できるようになった人が集まった組織、これがロータリーである。だからロータリーは何をしているのですかと、これを私達はこう言って定義したいのだ。どんな団体かという事は聞かれない。」と言い切っております。即ち奉仕という行動を通じて、自分自身を含めて人々の人生に変化をもたらそうと。これが会長のメッセージだと思っております。このRI会長のテーマの解説につきましましてはこの程度に致しまして、この後は私のイアン・ライズリー会長テーマについての私の思い、更にそれを受けての地区の方針、あるいは行動指針などについて少しお話をさせていただきます。

RI会長テーマの解説につきまして、今お話した通りでございますが、これは今年1月のサンディエゴでの国際協議会でお話しされたものでございます。私はそれを聞いた時に、イアン・ライズリーという人物は、この大変革の時代の国際ロータリーに相応しい人物だと感じました。その理由は、第一にロータリーとして初めて地球環境問題に対しての行動を提案した事。第二に我々の行動によって周りをも変えていこうという考え方をはっきりと打ち出した事。そして第三にロータリーの未来に向けての課題・問題点の2つを明確に指摘した事です。

1番目の地球環境問題については、今までも議論はされてきたようですが、これに対する具体的な取り組み、これについての提案はイアン・ライズリー会長が初めてのようです。これはRI会長挨拶の原稿には最初なかったようですが、日本のように国土面積の3分の2が森林という国でも、東日本大震災の被

災地などではまだまだ植林が必要だという事でありまして、世界を見渡してみますと砂漠化などで水資源の確保、生活環境の保全、更には大気汚染問題、これの解消からも未来に向けて我々が、地球上に棲む全ての生物、人類だけでなく全ての生物にとって分け隔て無く出来る一番の良い事ではないかと思っている所でございます。両クラブの皆さまにおかれましては、宮崎ガバナー補佐のリーダーシップもあって、それぞれ来年の4月、Earth Dayに向けてその取り組み、準備をさせていただいている事をここで御礼申し上げます。

2番目の考え方です。元々ロータリーの原点であると言われております職業奉仕の再認識とも捉える事が出来ると思えます。即ちロータリアンは、自分達が自分達の職業や立場を通して世界で良い事をしようとして奉仕活動を行っているわけですが、それ以上に我々の周りの方々にロータリーの活動を理解してもらい、共感してもらえれば、今よりもっと良い事の輪を広げる、幅も広く深くする事が出来るのではないかという認識をしようという提案であります。勿論その前に私達自身がロータリーの奉仕活動を通じて自らの喜びを大きく感じる事が無ければ、周りを動かす事は出来ませんので、それが前提でございます。

3番目です。これは今までもずっと言い続けられてきた事でありまして。ただイアン・ライズリー会長はこれをロータリーの未来を見据えた話として問題提起し、それからこれらの問題をこれからのロータリーを担っていくメンバーにそれぞれの立場で真剣に考えて欲しいと言った事。これで私も評価をさせていただきました。後でお話致しますが、我が地区のビジョンは10年後、20年後もこの地区が輝いている事、その輝きが持続可能である事とさせていただいておりますが、これは会長エレクト研修会、あるいは地区研修協議会などでも申し上げましたように、各クラブが10年後、20年後も輝いているという事が大前提の話でございます。昨年7月のRIの理事会で決定致しました、クラブ裁量権の大幅な拡大、これを受けまして、私は今年度からクラブに将来を見据えたクラブ戦略委員会などをお作りいただくようお願いを致しました。年度初めにもお作りいただいて、既に両クラブ共ご自分達のクラブの分析、奉仕活動の点検などに取りかかっている事に感謝申し上げます。

イアン・ライズリー会長は、ロータリーの組織としての課題を2つ挙げました。1つは会員の男女比率の問題、もう1つは会員の平均年齢の問題です。1つ目の男女比率の問題ですが、私はロータリーがアメリカで生まれ育った組織、そして112年の歴史の中で30年足らず女性が入った団体になった訳でございます。皆さま方はご存じかと思いますが、1989年、初めてアメリカで女性会員を入れる事がクラブで認められたという事でありまして。今世の中の男女比率と同じ50:50にならなければならないというのは、ちょっと無理があるかなとも思っております。私はこの女性会員の比率を上げるという事は、基本的にはクラブの皆さまが自由裁量でお決めいただく事、クラブの中でお考えいただく事と思っております。

本日は両クラブ共、女性会員が沢山おられて、また今年度に入ってからもお入りいただいている

ようですし、女性比率は10%を軽く超えておられます。次年度には朝比会長が登場するわけですので、皆さま方それぞれ大変な活躍をしておられると伺っております。我が地区、愛知県は前年ながら女性比率4.1%でございます。今年1月、サンディエゴでの国際協議会に出席を致しました私の同期ガバナー530名の内、110人を超える方が女性であります。パートナーとしてご主人が付いてこられました。また世界の平均は20%強でございます。では日本ではどうか?ちょっとデータが古いのですが、2013年度ですので今はもうちょっと増えていると思います。東京13.5%、神奈川・福岡・大阪・兵庫と大都市圏のほとんどが12%台、全国平均が11.1%ございました。それから見ますと、相当愛知県は女性会員が少ないなという事だと思います。

世の中では法律を含めて男女の区別を理由なしにつける事は出来ない時代でございます。そういった事も含めて、これからのクラブの在り方を戦略委員会などでご検討いただこうと思って、この公式訪問で各クラブをお願いを致しておりますが、本日の両クラブにおかれましては、ますます女性が強くなるのだらうなという気がしております。

今ロータリーは世の中で良い評価を受けている人、そして我々ロータリーの仲間と一緒に世界で良い事をしていこうという意欲のある方であるならば、メンバーの理解を取れば我々ロータリアンとして仲間を迎える事が出来る団体になっております事を、皆さま方ももう一度しっかりご認識いただいております。

そしてもう1つのメンバーの平均年齢の課題でございます。これは世界でも40歳未満の方は5%未満であります。特に我が国では今後も真剣に取り組まなくてはならない重要な問題だと思います。ロータリーの世界では、我が国の少子化がすぐに影響するとは思いませんが、若い仲間を私共のクラブに引き込もうと思えば、日本では90%が毎週昼に例会を開いております。それも平日に集中しております。そんな事も見直しの必要になってくるような感じもしております。その点、本日は名南RCさんのように平日でも夜間の例会でございます。お仕事の後での参加がしやすくなって、若い方には嬉しいクラブかもしれません。

そしてもう一つ、更に高い入会金や会費なども課題として挙げられると思います。クラブの独自性が挙げられるようになりまして今、そしてこれから思い切ったこのあたりの見直し・変更も必要になってくるのではないかと考えております。我が国に限らず先進国の多くは数多のボランティア団体が生まれ、それぞれの目的を持って奉仕活動を行っております。その中で112年という長い歴史を誇るロータリーは、その基本理念を変える事無く、更に財源の透明性を高める努力を重ねて、今日では一番の高い評価を受けるボランティア団体になる事が出来ました。それでもまだ世間からの認知度は低く、活動内容への理解もイマイチと言わざるを得ないのが現実です。

私はガバナーとして愛知県知事・名古屋市長だけでなく、この名古屋にございますマスコミのトップの皆さまに私どものロータリー活動・奉仕活動をご説明し、理解をいただいて、そしてまた色々な面

ご協力をいただきたいをお願いをして参りました。公共イメージ向上委員会の皆さま方と一緒に動いております。その新聞の紙面を見たりテレビのニュースを見たという方達からは「ロータリーってなかなか良い事をしているのだね。」というお声をいただきました。これが本当に嬉しく思った次第でございます。

今後私共は各クラブの奉仕活動、そして地区の動きをマスコミの皆さまに毎月お流しを致しまして、そして興味を持ったものを取材していただく、そんなお願いをもう既にするように進めてきております。是非両クラブの皆さま方もご自分達の奉仕活動について公共イメージ向上委員会のほうへお流しをいただきまして、また皆さま方に協力していただければと思っております。宜しくお願い致します。先程申し上げましたように、これは地域の皆さまに知っていただいて、その方々にロータリーの仲間に入っていただくのが一番良いのですが、そうでなくても一緒に協力していただきましたら私共の活動ももっともっと充実したものになるような気がしております。地区と致しましても、愛知県や自治体に積極的に働きかけをしていきますので、宜しくお願いを申し上げます。以上、イアン・ライズリー会長のテーマをベースに地区やクラブでやっていこうというお話を致しました。遠い先はともかく、5年10年先のご自分のクラブの姿を描いてみて、それに向けてクラブ戦略委員会で具体的な方策を実行・検討していただきたいと思っております。

地区方針はもうご存じのように「今日からのロータリーを楽しもう!」にさせていただきます。昨日まで楽しくなかったわけではありませんが、是非今申し上げましたように、奉仕活動の中で楽しみをもっと見出していきたいと思っております。私共はイアン・ライズリー会長が「我々ロータリアンは絶えず向上意欲を持って日々研鑽して励んでいる人であり、その集合体であるクラブもより高いロータリーブランドの追求を目指していきたいし、その追求が会員の楽しみとならなければ、クラブは発展・維持出来ないと考える。」と言っておられます。それから今の方針になりました。行動指針はもう既にクラブ計画書の中でそれを入れ込んでいただいておりますので、ここでは割愛をさせていただきます。

あとガバナーとしてお願いをさせていただく事を若干申し上げます。本日宮崎ガバナー補佐がお越しでございますが、本年度はガバナー補佐訪問を年間4回お願いいたしますと言って、ガバナー補佐の皆さまに猛反発を食らっております。特に西名古屋区分などはとても13クラブも1人では回りきれませんので、チームで宜しくと言っております。この両クラブは別でございますが、ガバナー補佐の皆さま、チームの皆さまを温かく迎えていただければと思っております。私も時間がありましたら、また改めてお伺いしたいと思っております。それからWFFへの参加でございます。両クラブへの皆さまにはもう既にチケットの申し込みをいただいておりますし、東南RCさんは10月14日(土)のお昼に移動例会を持っています。是非お友達・ご家族と一緒に10月14日(土)・15日(日)のWFFにお出かけください。

そして大事な会員増強。これは自分達の奉仕活動

をもっと活発に、有効なものにする為の問題でございます。東南RCさんにはチャレンジ100。さあ、今から10数人増やしていこうという事で、50周年の時には100人の仲間と喜んでいただければ嬉しい限りでございます。会員増強委員の皆さまにだけお任せするのではなく、力を合わせてクラブの皆さまが一致協力をしていただければと思っております。

また米山記念奨学事業につきましても、平和・友好の実現と日本の理解者を増やすという目的実現の為に、是非皆さま方のご協力もお願いし、ガバナー賞もお取りいただければと思っております。その他、諸々の寄付でございますが、私は以前から3年先に地区補助金、グローバル補助金として、還ってくる自分達の活動資金への拠出、即ち積立金だという考えでご協力をお願いしています。言ってみますとdonation（寄付）でなく、contribution（貢献）とお考えいただければと思っております。

最後にMy Rotaryについてです。もうこれは両クラブ共、積極的にお取り組みいただいておりますので、今更申し上げる事も必要ないわけでございますが、会員1人1人がもっとネットワークで情報を共有していただき、他の仲間の事を知ると同時に自分の事も知っていただきたい。これはMy Rotaryで自分がどれだけの、今申し上げた寄付・貢献をしているかを見られるわけでございます。そういう事でお作りいただきますと、結構面白い発見があると思っております。My Rotarianや事務局の方にお聞きいただき、50%の登録を実現したいと思っております。

今年度はあと10ヶ月余りでございますが、皆さまと一緒にロータリー生活、奉仕活動を楽しみながらやっていこうと思っております。そして来年6月、今年度の最後にカナダのトロントで2017-18年度国際大会が開かれます。季節も最高。周りにはナイアガラだけでなく本当に見所が沢山あります。今年度の最後の記念に皆さまこそぞってお出かけください。トロントでのガバナーナイトは6月24日（日）でございます。トロントでもお目にかかりましょう。皆さまも今日からのロータリーを楽しみましょう。両クラブ益々のご発展と会員の皆さま方のご健勝をお祈り申し上げまして、ガバナー挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



第 1234 回例会 (9月12日) のご案内

外部卓話

歌舞伎ソムリエ おくだ健太郎氏